

平成 28 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	東京医科歯科大学	職名	プロジェクト研究員	助成金額	300,000 円																																																																	
氏名	伊角 彩	メール アドレス	isumi.hlth@tmd.ac.jp																																																																			
研究課題 (申請書に記入した内容を記入すること。)																																																																						
虐待が子どもの医療コストに与えるインパクトと家庭訪問支援の経済的評価 —全国の DPC データと東京都足立区での事例を用いて—																																																																						
助成金使用実績の概要 (日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。)																																																																						
<p>【研究目的】 本研究は、虐待によって生じるコストとして、虐待を受けた子どもにかかる医療コストを明らかにすることを目的とする。さらに、保健師などによる妊娠期からの家庭訪問支援にかかる費用を推計し、医療コストの削減を便益とすることで、その経済的評価を行う。</p> <p>【研究内容】 虐待によって生じる医療コストを推計するに当たり、本研究期間では虐待の種類別 (身体的虐待、ネグレクト、性的虐待) に疾病コードを確定した。具体的には、海外の先行研究^{1,2}で明らかになっている虐待を直接示唆する ICD コード (例: 表 1) と虐待が原因となって起こったと考えうる ICD コード (例: 表 2) を用いた。後者 (表 2) については、先行研究では ICD-9 (第 9 版) のコードで示されているため、それらに対応する ICD-10 のコードに変換した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">表 1 身体的虐待を直接示唆する ICD-10 コードの例</th> <th colspan="2">表 2 身体的虐待を示す ICD-9 コードの例</th> <th>年齢</th> </tr> <tr> <th>ICD-10</th> <th>病名</th> <th>ICD-9</th> <th>病名</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>T74.1</td> <td>身体的虐待</td> <td>362.81</td> <td>詳細不明の網膜出血</td> <td><3</td> </tr> <tr> <td>X85-Y04, Y08-Y09</td> <td>加害にもとづく傷害及び死亡 (暴力による性的加害にもとづく傷害および死亡、 遺棄または放置、その他の虐待症候群を除く)</td> <td>807.0, 807.1</td> <td>詳細不明の肋骨骨折(非開放性、開放性)</td> <td><5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>811</td> <td>詳細不明の肩甲骨骨折</td> <td><5</td> </tr> <tr> <td>Z04.5</td> <td>その他の故意の損傷後における検査および観察</td> <td>852.2</td> <td>外傷性硬膜下出血</td> <td><5</td> </tr> <tr> <td>Z61.6</td> <td>子どもに対する身体的虐待の申し立てに関連する問題</td> <td></td> <td>頭蓋内に達する開放創合併なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>853</td> <td>詳細不明の外傷性脳内出血</td> <td><5</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>頭蓋内に達する開放創合併なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>863.1</td> <td>胃損傷・腹腔に達する開放創合併あり</td> <td><10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E965, E966, E968.2</td> <td>銃・鋭器・鈍器による加害にもとづく傷害・死亡</td> <td><4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E968.9</td> <td>詳細不明の手段による加害にもとづく傷害・死亡</td> <td><4</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E988</td> <td>移動中の物体の前または中への転落、横臥または走りこみ、不慮か事故か決定されないもの</td> <td><10</td> </tr> </tbody> </table> <p><参考文献>¹McKenzie, K et al. (2011) <i>BMC Public Health</i>. ²Schnitzer, P.G. et al. (2011) <i>Child Abuse & Neglect</i>.</p> <p>また、東京都足立区における家庭訪問にかかる費用についてヒアリング調査を行った。</p> <p>【助成金の使途】 ICD コード変換に関する共同研究者との打ち合わせや足立区でのヒアリング調査にかかる交通費、研究協力者への謝金に使用した。</p> <p>【今後の予定】 本研究期間で確定した ICD-10 コードを用いて、2008 年から 2014 年にそれぞれの虐待で入院した子どもの数を特定し、虐待の種類別に虐待の発生率および入院日数・治療費を算出する。</p>						表 1 身体的虐待を直接示唆する ICD-10 コードの例		表 2 身体的虐待を示す ICD-9 コードの例		年齢	ICD-10	病名	ICD-9	病名		T74.1	身体的虐待	362.81	詳細不明の網膜出血	<3	X85-Y04, Y08-Y09	加害にもとづく傷害及び死亡 (暴力による性的加害にもとづく傷害および死亡、 遺棄または放置、その他の虐待症候群を除く)	807.0, 807.1	詳細不明の肋骨骨折(非開放性、開放性)	<5			811	詳細不明の肩甲骨骨折	<5	Z04.5	その他の故意の損傷後における検査および観察	852.2	外傷性硬膜下出血	<5	Z61.6	子どもに対する身体的虐待の申し立てに関連する問題		頭蓋内に達する開放創合併なし				853	詳細不明の外傷性脳内出血	<5				頭蓋内に達する開放創合併なし				863.1	胃損傷・腹腔に達する開放創合併あり	<10			E965, E966, E968.2	銃・鋭器・鈍器による加害にもとづく傷害・死亡	<4			E968.9	詳細不明の手段による加害にもとづく傷害・死亡	<4			E988	移動中の物体の前または中への転落、横臥または走りこみ、不慮か事故か決定されないもの	<10
表 1 身体的虐待を直接示唆する ICD-10 コードの例		表 2 身体的虐待を示す ICD-9 コードの例		年齢																																																																		
ICD-10	病名	ICD-9	病名																																																																			
T74.1	身体的虐待	362.81	詳細不明の網膜出血	<3																																																																		
X85-Y04, Y08-Y09	加害にもとづく傷害及び死亡 (暴力による性的加害にもとづく傷害および死亡、 遺棄または放置、その他の虐待症候群を除く)	807.0, 807.1	詳細不明の肋骨骨折(非開放性、開放性)	<5																																																																		
		811	詳細不明の肩甲骨骨折	<5																																																																		
Z04.5	その他の故意の損傷後における検査および観察	852.2	外傷性硬膜下出血	<5																																																																		
Z61.6	子どもに対する身体的虐待の申し立てに関連する問題		頭蓋内に達する開放創合併なし																																																																			
		853	詳細不明の外傷性脳内出血	<5																																																																		
			頭蓋内に達する開放創合併なし																																																																			
		863.1	胃損傷・腹腔に達する開放創合併あり	<10																																																																		
		E965, E966, E968.2	銃・鋭器・鈍器による加害にもとづく傷害・死亡	<4																																																																		
		E968.9	詳細不明の手段による加害にもとづく傷害・死亡	<4																																																																		
		E988	移動中の物体の前または中への転落、横臥または走りこみ、不慮か事故か決定されないもの	<10																																																																		
助成金を使用した成果に関する発表 (インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。)																																																																						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)																																																																			
発表準備中																																																																						